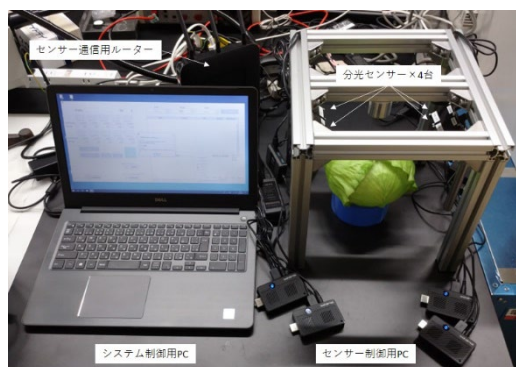


小型分光センサを使った野菜品質の評価装置

成果の特徴

- ・ 小型分光センサを使った野菜品質の評価装置（卓上型）を開発しました。
- ・ LED照明と分光センサを一体化した聴診器型のポータブル装置も開発しました。
- ・ 用途に合わせて定量分析や判別分析が可能です。

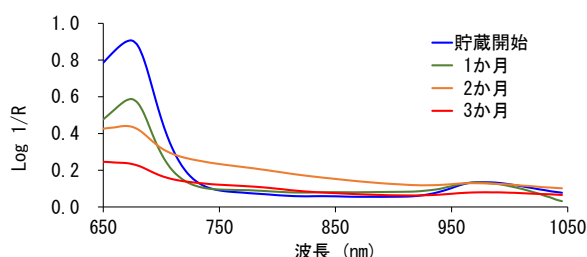
成果の内容



卓上型の評価装置



採用した分光センサ
(C14384MA-01, 浜松ホトニクス)



装置で取得したスペクトル（貯蔵キャベツ）

想定される用途・連携希望先

本成果は生産・流通の現場における品質管理での利用が想定されます。

分光センサを使った生産・流通の現場における品質評価に興味をお持ちの企業との連携を希望します。



聴診器型のポータブル装置

参考

Nakajima et al. (2021), Food Chemistry, 339, 128058
 中島ら(2019), 第35回近赤外フォーラム講演要旨集, 137
 Sesumi et al. (2020), The 20th International Conference on NIR, 150, O-39
 メディカル青果物研究所・農研機構, プレスリリース,
<https://www.delica.co.jp/wp-content/uploads/2023/02/20230215.pdf>

※本研究は、内閣府戦略イノベーション創造プログラム（「スマートバイオ産業・農業基盤技術」）によって実施されたものです。

担当研究者：源川 拓磨
 所 属：食品研究部門
 食品流通・安全研究領域